

11月・12月の管理ポイント

平成21年10月25日



株式会社 トモグリーンケミカル

11月に入ると天気も数日周期で変化するようになってきます。
強風と乾燥が続く、グリーンも予想以上に乾きやすくなってきます。
夏場の乾燥とは違った意味での注意が必要です。また来春の萌芽に向けて貯蔵糖類を蓄積させる大事な時期です。糖類の補給もしっかりやっていきましょう。

ホームページアドレス
<http://www.tomo-green.com/>

第102号

グリーンメカ

貯蔵糖類を確保して来春の萌芽期を乗り切る...

11月は、生育期のため糖類消費が激しい時期です。
曇天が続く日は、光合成が不十分で、折角の施肥が完全にエネルギーにかえられません。
グリーンメカを処理して糖類を補給し、12月の休眠期に備えましょう。
貯蔵糖類が十分にあれば、耐寒性・耐凍性が増強され、来春の萌芽期は均一に芽出しします。
使用量：5～10ml/m² 1ℓ/m²以上散布

プライマーセレクト

強風によるグリーン表面の乾燥に...

強風による乾燥の厳しい11月は、油断するとすぐにグリーン表面が乾燥しすぎてしまいます。
プライマーセレクトを処理することによって、均一な水分分布を目指し、乾燥害からグリーンを守りましょう。
使用量：1～2ml/m² 200ml～1L/m²散布 散布回数 1ヶ月～1ヶ月半に1回

コ・エンザ

芝生の色出しに...

補酵素の働きで植物内の活性を高め、晩秋にかけて色落ちする時期を遅らせます。
また、古くなった下葉が焼けたようになり、その後のサッチング処理で、グリーン表層のサッチ(有機残渣)が
取れやすくなります。
使用量：0.5～1.0g/m² 0.5～1.0ℓ/m²散布

カラーメイト オーダータイプ

キーパーの好みでお選びください...

オーダーグリーン(#D、#20、#50、#70)：明緑～暗緑までにお好みのタイプを選んで頂けます。
リーフシールドの加用(150～200倍)により、色持ちもよく霜融けを早めることができます。
使用量：オーダーグリーン 50～100倍 150～300ml/m²散布

リーフシールド

芝生の耐乾性・耐寒性を高めるには...

リーフシールド処理により葉面はコーティングされ、蒸散が抑えられます。
葉面温度が下がるのを軽減し、また乾燥からも守ります。
着色剤との組み合わせにより、葉面温度が上昇し、霜が早く溶けます。
使用量：200倍 150～200ml/m²散布

全身獲得抵抗性 (SAR) とは？

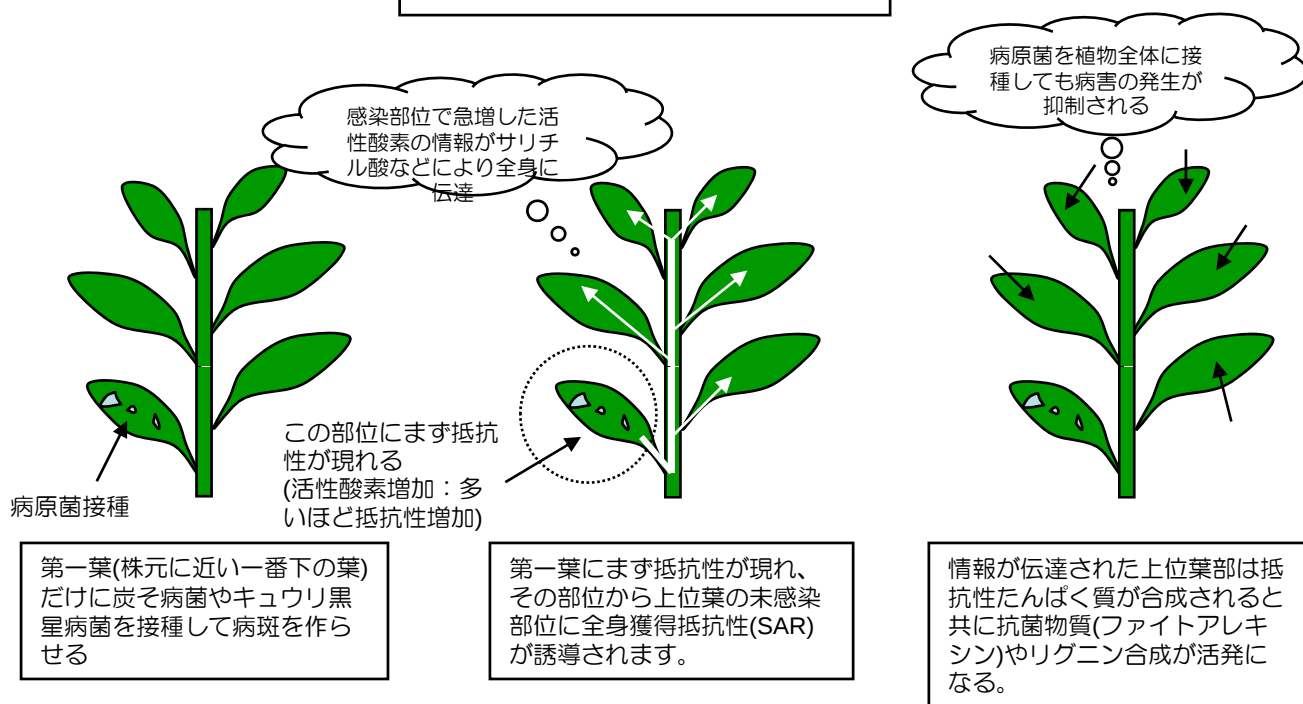
ミネラルで病気を軽減できるのか？ その1

植物の病害抵抗性の発現機構の中に、**全身獲得抵抗性(SAR)誘導**というものがあります。この働きは、植物体の一部にあらかじめストレス(病原菌)を与えるとその情報が植物全身へ行き渡ります。その情報を元に植物は新たな抗菌たんぱく質やリグニンなどの抵抗性物質を生成し生態防御を行います。

ミネラル(無機元素)の中には、病原菌の感染シグナルを全身に伝える情報伝達機能を増幅させる作用があることが報告されています。

本号では、まずSAR誘導の働きについて紹介したいと思います。

キュウリにおけるSAR誘導の例



「作物の栄養生理最前線」 渡辺 和彦著より参照

今回紹介した植物の病害抵抗性発現の度合いは、あくまでも植物の品種や栄養状態に大きく作用されます。当たり前のことですが、栄養が行き届いていない植物は病気に罹りやすくなってしまいます。次号では、抵抗性誘導を活性化させるミネラルの紹介をしたいと思います。